

弱溶剤系 1 液形塗料の塗装面への 弾性シーリング材使用に関する注意

日本建築仕上材工業会
日本シーリング材工業会
日本シーリング工事業協同組合連合会

建築物の塗装工事及びシーリング工事については、一般的に公共建築工事標準仕様書、JASS 18(塗装工事)、JASS 8(防水工事)等に準拠して施工されています。

しかし、昨今その利便性・速乾性等から弱溶剤系 1 液形塗料などと称される合成樹脂塗料がスチールドア等の一般鉄部・金属部に使用されるようになってきました。

ただし、スチールドア枠回りに塗装された弱溶剤系 1 液形塗料の上に弾性シーリング材が施された場合、塗膜が軟化してシーリング材がはく離するトラブルが発生しています。日本建築仕上材工業会、日本シーリング材工業会、日本シーリング工事業協同組合連合会と共同で検討した結果、「2 成分形変成シリコン系シーリング材」又は「2 成分形ポリサルファイド系シーリング材」の汎用製品との組合せにおいて不具合を生じることが確認されました。この原因については、シーリング材に配合されている液状の可塑剤等が経時で塗膜に移行した影響と推察しています。

したがって、スチールドア等に弱溶剤系 1 液形塗料を塗り付ける工事仕様においては、弾性シーリング材が施される枠回りについては、さび止め塗料までの工程で止めていただきますようお願いいたします。

〈連絡・問合せ先〉

日本建築仕上材工業会	TEL 03 (3861) 3844
日本シーリング材工業会	TEL 03 (3255) 2841
日本シーリング工事業協同組合連合会	TEL 03 (3643) 7901